## 講義１　副島賢和さん　　2021年1月24日10:45-11:50

# 病弱児教育の知見から学ぶコロナ禍下の教育
## ――院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと――

　コロナ禍が長期化する中、保育や教育の現場では新たな関わり方への転換が求められています。参考になるのは、これまでも感染予防などをしながら、いかに子どもたちの学びを保障するかということを考えてきた、病弱教育ではないかと考え、ご登壇をお願いしました。
　今、解決すべき課題は何か、病弱教育の知見から学びたいと思います。

（講師プロフィール）

　1966年、福岡県生まれ。昭和大学大学院保健医療学研究科准教授。学校心理士スーパーバイザー。2014年より昭和大学附属病院内学級担当。25年間、都内公立学校教諭として勤務。2006年より品川区立清水代小学校・昭和大学病院内さいかち学級担当。ホスピタルクラウンとしても活躍。ドラマ『赤鼻のセンセイ』（日本テレビ、2009）のモチーフとなり、NHKのドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」にも取り上げられる。

著書『はなれていても、だいじょうぶ　今こそ伝えたい、
　　院内学級で教員として学んだこと』（学研プラス、2020年）
『あかはなそえじ先生のひとりじゃないよ――ぼくが院内学級の
　　教師として学んだこと』（学研教育みらい、2015年）

人間発達研究所主催
**人間発達講座**
**自分づくりを生きる わたし 第3回**